学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	造形演習Ｄ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

既習の基礎造形力を生かしながら、さらに高い造形力を身に付けるとともに、今後の受験に対応できる力をつける。自己実現のための実技力（主にデッサン、立体構成など受験必須内容）の向上をめざす。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
モチーフ(石膏、人物、卓上)をしっかり観察し、それを的確に表現する。立体構成や着彩などテーマに応じ、イメージを膨らませ表現できる。

【思考力、判断力、表現力等】
多様なモチーフ(石膏、人物、卓上)を経験して、陰影や表情をしっかり表現できる。立体構成や着彩などテーマに合わせた構図・構想が生まれ、表現につなげられる。

【学びに向かう力、人間性等】
これまで培った基礎基本を積極的・主体的に活用し、創造活動に生かすような態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け意図に応じて	・造形的な良さ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	デッサン	・人物クロッキー ・身近な静物のクロッキー ・卓上モチーフの鉛筆デッサン ・石膏デッサン	a:モチーフを観察し、思考を重ね工夫をしている。 b:モチーフを観察し、質感や素材感も写実的にとらえ、空間も含め正確かつ造形的に美しく表現している。 c:主体的に取り組み、描く意図に応じて創意工夫し、創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価
2	造形基礎要素	・着衣モデルの鉛筆デッサンと着彩デッサン ・静物着彩 ・立体構成 相互鑑賞 (進路別対策内容など含む)	a:形や光、材質、基礎造形的な視点をもって基礎形体の造形要素の働きを理解している。 B：デッサンの表現形式の特性を生かし、明暗・構成についての構想を練っている。 c:モチーフ・素材の特性を生かし、主体的にデッサンの創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価 鑑賞レポート
		・イメージと表現(立体・平面) ・デザインと構図	a:主題について理解し、表現の意図を的確に展開できている。 b:創造的に発想をすすめ、描写を工夫し表現につなげている。 c:主体的に取り組み、イメージ表現の意図に応じて創意工夫し、創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価
3	造形要素応用	・塊材による立体構成 ・線材による立体構成 ・面材による立体構成 ・複合素材による立体構成	a:主題について理解し、表現の意図を的確に展開できている。 b:創造的に発想をすすめ、描写を工夫し表現につなげている。 c:主体的に取り組み、イメージ表現の意図に応じて創意工夫し、創造活動に取り組もうとしている。	プリント 作品	スケッチ 作品	作品 授業観察 総合評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度